

学級活動指導案

平成21年11月 6日(金) 第3校時
第6学年1組 指導者 金井 仁史

I 題材名 クラスのためにできることを考えよう

II 題材の考察

1学期の修学旅行を始め様々な行事や活動を通して、人とのかかわりを深め、協力する気持ちをはぐくみ、学級の仲間としての意識が徐々に高まりつつあると思われる。また、構成的グループエンカウンターを活用した指導など、自分の思いや気持ちを素直に表現することを繰り返してきたことで徐々に自分の意見を話せるようになってきている。これらの活動や担任からの聞き取り、アンケートの結果から、児童の実態を次のようにとらえた。

- 個々の課題、クラスの課題などに気付くことはできるが、それを自ら積極的に解決していこうとするまで意識が高まっていない。
- アンケート結果から、クラスがよくなるために必要なこととして「はっきりと自分の意見を言う」ことや「信頼」などを挙げる児童もおり、個々にはクラスの課題を解決するための方法を考えることができる。
- 話し合い活動に関しては、ピアサポート活動などを行い、相手を思いやる言葉がけや助け合う気持ちを表現する経験を積んできている。児童は、相手の意見や考えを思いやりをもって受け入れることの大切さを理解し、徐々に考えや意見を出し合えるようになってきたが、まだ議論の方向性を修正したり、話し合いを深めたりするために、教師がかかわる必要がある。
- 友達によさに気付いている児童が多く、互いを認め合い、相手に協力することの大切さに気付き、よりよい生活を送ることのよさを理解することができている。

このような児童が、学級生活をよりよくするために必要なことを話し合い、クラスのためにできることを自ら考え取り組んでいくことや互いのよさを認め合い、よりよい学級をつくろうとする意欲を高めることはとても重要であると考えた。そこで、「クラスのためにできることを考えよう」という題材で集団討議による自己決定を行い、相手への思いやりや人のためになるような行動を自分や友達によさとして取り上げ、学級生活の向上のために役立つ行動について考えていく。このような活動を通して、お互いを受け入れることによって、学級への所属感を高め、よりよい学級生活を送ろうとする意欲を高めていきたい。また、本題材は学級づくりの指導のめやすの2学期「一人一人の居場所をつくる」を具現化するための活動であり、学級への所属感を実感することで、学級の友達同士が認め合う気持ちを高め、仲間として認め合える児童を育成につなげていく。

事前の活動では、一人一人のよさを学級生活の向上に生かし切れていないことを課題として、問題意識を共有していく。また、「下級生との交流をしよう」の活動を思い出し、自分や友達によさをワークシートに書き留めておくなど、今までに経験した活動と関連付けることによって話し合いに対する意欲付けをしていく。

本時の活動では、友達の良い行動や言葉がけをできるだけたくさん挙げることによって、自分たちの現状を把握する。また、「よりよいクラスになるため」という観点からそれぞれの行動を見直し、挙げられたよさをクラスのために生かす方法について話し合い、友達の見解を参考に自分の取組を自己決定していく。

事後の活動では、自己決定した取組を実践していくとともに、評価し認め合うことによって、よりよいクラスにしていこうとする意欲を継続させていく。

III 目標及び評価規準

1 目標

相手を思いやり、人のためになるような言葉や行動を基に、学級生活の向上に役立つ行動について話し合い、自分の取組を考え実践することによって、お互いを受け入れ、学級への所属感やよりよい学級生活を送ろうとする意欲を高める。

2 学級活動(2)の高学年における評価規準

- (1) 生活や学習への適応及び健康安全のために、課題を見付け、集団の一員としての自覚を持ちながら、課題を解決しようとしている。
- (2) 生活や学習への適応及び健康安全のために、課題を見付け、その解決策について友達のことを取り入れながら判断している。

- (3) 生活や学習への適応及び健康安全のために、友達の考えを聞きながら自分の考えを发表或しり役割を分担し合ったりして活動している。
- (4) 生活や学習への適応及び健康で安全に生活を送ることの大切さや課題を解決する活動の仕方を理解している。

IV 指導方針

- 事前の活動の段階では、「下級生との交流会をしよう」の活動との関連を図り、事後の反省や感想から、課題を見付けていく。「一人一人のよさが学級生活に生かせていない」ということを共通課題とし、活動の題材を「クラスになるためにできることを考えよう」とした。また、よい行動について自分の考えをまとめておくことで目的をしっかりと把握し、話合いに臨めるようにする。
- 本時の活動の段階では、実際の活動の写真や映像を提示することにより、課題をより具体的にとらえたり、友達のよいところに気付くことができるようにする。また、「○○をすれば□□になる」という文の○○によさ書き入れ、□□に言葉を入れることによって、よさを発揮することの価値について考えさせるとともに、よさを生かそうとする意欲を喚起していく。さらに、学級の合い言葉である「なかま」という言葉に視点を当て、「なかま」になるにはどのようによさを生かしたらいいかを考えることによってねらいに迫っていく。これらの話合いを基に自分の取組を自己決定することによって、あらかじめ準備しておいた自分の意見が話合いを通して変わっていくことを自覚させ、話合いの深まりを実感させる。終末場面では、自己決定したことをグループで発表し、認め合うことによって決定したことを取り組んでいこうとする気持ちを高める。
- 事後の活動の段階では、自己決定した取組を重点的に実践する機会を設け、互いのよさを認め合い、評価していくことによって、取組を継続していこうとする気持ちを高める。

V 活動計画（全1時間予定）

過程	活動内容
事前	○課題の発見→共通の課題の設定→題材の決定→計画の作成→問題の意識化の過程を通して話合いの準備をしていく。 ○今までの自分を振り返ったり、「下級生との交流をしよう」での活動を思い出したりすることによって、友達や自分のよさに気付かせ、意見を持たせる。
本時	○友達のよいところについて、意見を出し合う。 ○よさの価値について考えさせるとともに、「学級のためになる」という観点から、それぞれのよさを学級のために生かす方法について話し合う。 ○「なかま」をキーワードに、個々のよさと学級が目指す姿のつながりについて考え、話し合う。 ○友達の意見を参考に自分がクラスのために取り組むことを自己決定する。
事後	○自己決定したことを取り組み、評価し認め合うことで、実践を継続していく。

VI 道徳とのかかわり

本題材は、小学校学習指導要領 道徳の内容項目「4主として集団や社会とのかかわりに関すること（3）身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす」に深くかかわる。友達のよさや思いやりをクラスのためという観点から見直し、話合いを通して個々の取組を自己決定していくことによって、個々と集団とのかかわりを意識し、集団の中で一人一人が尊重され、集団全体として、よりよい生活を作り上げていく。そんな個と集団の関係についての道徳的価値を実践を通してはぐくむことができると考える。

V 本時の活動（1／1時間）

1 ねらい

友達のよさや相手を思いやり、人のためになるような言葉や行動を基に、学級生活の向上に役立つ行動について話し合い、自分の取組を自己決定し、よりよい学級をつくらうとする。

2 準備

(教師) ワークシート、生活を振り返る資料 (写真、ビデオ)
 (児童) 意見シート

3 展開

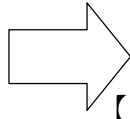
活動内容と児童の意識	指導上の留意点	時間
<p>1 話し合いの目的を把握すると共に、友達や自分のよいところについて意見を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> めあて：友達の考えを聞いて、自分がクラスのためにできることを決めよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに声をかけている。 ・困っている子を手伝ってくれる。 ・優しい言葉で話している。 ・一生懸命そうじをしている。 </div>	<p>○友達の良いところや自分の取組について、確認することによって、本時のめあてをつかみ、見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> めあて：友達の考えを聞いて、自分がクラスのためにできることを決めよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○友達のをさをできるだけたくさん挙げることによって、様々なよさがあることを知る。 ○なかよし遠足やミニ勉強会の映像を見せ、具体的な場面や行動を示すことによって、様々なよさに気付かせる。 ○学習や係、清掃、給食など、生活の場面を想起させることで、意見や考えを出しやすくする。 	7分
<p>2 よさの価値について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで声をかけ合えば、行動が早くなる。 ・困っている子を手伝ってあげれば、早く片付けられ、うれしいと思う。 ・優しい言葉で話をすれば、温かい気持ちになる。 ・一生懸命そうじをすれば、教室がきれいになる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○「クラスのため」「みんなのため」のという視点から、「○○をすれば□□になる」という文の○○によさ書き入れ、□□に入る言葉を考えることによって、児童から出されたよさの価値を分かりやすく表現させる。 ○場面や視点を変えることにより、同じよい行動でも違った多くの価値が生まれることに気付かせる。 ○個人から全体へと考えた内容を交流させていくことによって、様々な価値に触れられるようにする。 	8分
<p>3 個々のよさと学級が目指す姿のつながりについて考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・その人の立場になって考えてあげれば助け合うことができなかまになれる。 ・自分の仕事をしっかりやれば、信頼されなかまになれる。 ・優しい言葉遣いをすれば、ケンカがなくなり、なかまになれる。 ・思いやりをもって行動すれば、なかまになれる。 ・話をたくさんすれば、互いに相手のことがよく分かり、なかまになれる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○学級の合い言葉である「なかま」に視点を当て、仲間として結び付くために必要なことを考えさせることによって、クラスが目指す姿を具体化する。 *「○○(すれ)ば、クラスがなかまになる」 ○考えの根拠や理由について明確にして発表させることによって、意見や考えに説得力をもたせる。 ○できるだけたくさんの児童の意見を引き出すことによって多様な意見や考えに触れさせる。 ○どんな意見でも受け入れ、発表したことを賞賛していくことで意見を言いやすい雰囲気をつくる。 ○「なかま」の意味を明確しておくことで○○に入る言葉のイメージをもちやすくする。 ○出された意見を見直し、本当に必要なことについて、グループで話し合うことで友達が「なかま」になるために必要なことの考えを深める。 	20分

<p>4 話し合いを参考に自分の取り組むことを自己決定し、まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は仲のよいクラスにするために言葉遣いに気をつけよう。 ・きれいな教室にするためにみんなに声をかけ、掃除をがんばろう。 ・みんなが困らないように係の仕事をしっかりやろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に決めた取組と違うものにしてもよいことを伝え、話し合いを生かした取組にするように助言する。 ○自己決定した内容をグループで伝え合うことで今後の取組の意欲付けをしていく。 ○決定した取組を1週間集中して行うことを伝え、まとめていく。 	<p>10分</p>
--	--	------------

<p>評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な視点から、友達によさに気づき、意見を発表しようとしている。 ○話し合いを参考に、「クラスのために」という観点に基づいた取組を決め、実践しようとしている。
-------------	---

学級活動での話合いの題材

○なかよし勉強会の感想から



下級生のためにできたよいことがクラスのために生かせないか？

【学習のめあて】

友達の考えを聞いて、自分がクラスのためにできることを決めよう

1 自分や友達の「よさ」・「よい行動」

* 普段の生活やなかよし勉強会でのこと、学習や係、そうじ、給食などでのことをなるべく具体的に書いてください。

* 『〇〇の時、・・・をしていた、・・・をしてくれた』のように具体的に書こう。
例：なかよし遠足の時、泣いていた2年生をなぐさめてあげていた。

○

○

○

2 クラスのためにできる自分の取組

【理由】

学級活動記録シート

6年 組 ()

学習のめあて

()月 ()日 ()

○ 友達や自分のよいところクラスに生かすには……。

1、よさを生かせばどうなるだろう。

すれば、 になる。

(例) ゴミをひろえば、 教室がきれい になる
みんなに声をかければ、 早く整列ができるよう になる

○

○

2、クラスがよくなるには……。

2 クラスのためにできる自分の取組

* 友達の意見や話を参考に自分の実践する取組を決めよう。
(事前に考えたものを見直してみよう)

【理由】

「クラスのためにできること」 取組ふりかえり表

〇年 組 ()



自分の取組			
月日	項目	評価	今日のふりかえり 友達ががんばっていたところ 自分のがんばったこと
/ ()	・自分の決めた取組を積極的に行うことができた。	◎ ○ △ ▲	
	・クラスのために意識して取り組もうとした。	◎ ○ △ ▲	
	・友達に協力することができた。	◎ ○ △ ▲	
	・友達のよい行動を見付けることができた。	◎ ○ △ ▲	
/ ()	・自分の決めた取組を積極的に行うことができた。	◎ ○ △ ▲	
	・クラスのために意識して取り組もうとした。	◎ ○ △ ▲	
	・友達に協力することができた。	◎ ○ △ ▲	
	・友達のよい行動を見付けることができた。	◎ ○ △ ▲	
/ ()	・自分の決めた取組を積極的に行うことができた。	◎ ○ △ ▲	
	・クラスのために意識して取り組もうとした。	◎ ○ △ ▲	
	・友達に協力することができた。	◎ ○ △ ▲	
	・友達のよい行動を見付けることができた。	◎ ○ △ ▲	
/ ()	・自分の決めた取組を積極的に行うことができた。	◎ ○ △ ▲	
	・クラスのために意識して取り組もうとした。	◎ ○ △ ▲	
	・友達に協力することができた。	◎ ○ △ ▲	
	・友達のよい行動を見付けることができた。	◎ ○ △ ▲	
【反省と感想】			

